

児童発達支援・放課後等デイサービス（重症心身障害児）

事業所名

社会福祉法人 松原愛育会
児童発達支援センター みちのポケット

支援プログラム

作成日

R6 年 10 月 4 日

法人（事業所）理念		愛であなたを支援します								
支援方針		お子さま一人一人の「やりたい」という気持ちを大切にし、お子さまが最大限の力を発揮できるようにお手伝いします。								
営業時間		9 時	30 分	から	16 時	15 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康状態のチェックと状況に応じた健康状態の把握、適切なケア、管理を行います。また、必要に応じて医師とも連携を図ります。睡眠・食事・排泄等の生活習慣を形成し、健康の保持・増進に必要な生活リズムを身につけられるよう支援します。								
	運動・感覚	お子さまの発達段階や状況に応じて、様々な感覚を活用できるような遊びを行います。必要に応じて、姿勢保持装置などの補助具の活用や、日常生活に必要な移動や歩行、車椅子による移動などが行えるように支援します。								
	認知・行動	お子さま一人一人の認知特性を理解し支援します。様々な感覚を活用できる遊びを通じて、認知機能の発達を促します。								
	言語 コミュニケーション	お子さまの「伝えたい」「伝わった」という気持ちと達成感大切にし、一人一人の発達に応じたコミュニケーションスキルの獲得を目指します。言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、サイン等を用いて気持ちを伝えることができるように支援します。								
	人間関係 社会性	遊びや集団活動を通じて、アタッチメントの形成と環境に対する安心感を育みます。共に活動することを通じて周囲の人への興味・関心を促進します。								
家族支援		保護者さまがお子さまの心身の発達状況やその特性を理解するプロセスに寄り添うとともに、具体的な支援の方法を相談・共有することで、お子さまとのよりよい関係性を育めるよう後押しします。更に、ごきょうだいの気持ちにも寄り添いながら支援します。				移行支援		お子さまの発達のプロセスやライフステージの変化に応じて、お子さまの通う園や事業所と連携・協働しながら、一貫性のある支援、切れ目のない支援を目指します。お子さまが地域のそれぞれの場で生き生きと活動できるよう橋渡しを行います。		
地域支援・地域連携		お子さまの通う園や地域の事業所とのつながりを持ち、また、地域の協議会などに参加することで、お子さまの安心できる暮らしや育ち、誰もが主役になれる社会を念頭に地域づくりにつとめます。				職員の質の向上		CDS-Japanの総会や研修会をはじめとする研鑽の場に参加し、職員一人一人の質の向上を目指します。また、それぞれの専門分野における研鑽を惜しまず、新しい知見などを事業所内で共有し、事業所全体の質の向上を図ります。		
主な行事等										